

業務部速報

No. 27

発行 12. 12. 12

JR東労組 業務部

申1号

第28回定期大会発言に基づく申し入れ交渉を行う!

本日、第28回定期大会発言に基づく申し入れの第3回目の交渉を行い、第7項、10項について交渉を実施しました。また、第3項について12月7日の地震を踏まえ、再度テレビの設置について強く要求をしました。

第7項 4月29日に発生した関越道ツアーバス事故を踏まえ、バス関東、バス東北にて安全装置を配備すること。 組合の主張 会社の主張

安全管理はグループ会社の責任ということだが、親会社として事故防止対策をどういう風にやるべきか?また、対策の状況は?

バス会社がどのような対策を実施しているかは把握している。安全装置については、後付けができないため、新車導入とともに増やしていく。

安全ビジョン2013にてグループと一体となって安全に取り組む、安全部門を支援していくとうたっているが、具体的な内容は?

ハード面、ソフト面の安全に対する対策はこれまでもやってきている。
具体的な説明はなし!

国土交通省が衝突軽減自動ブレーキ装置の導入を義務づけたが、対応はどのようになっているのか。

細かな事象に関する事は把握していない。
究極の安全を前提として把握していないでよいのか!

- グループ会社がどういう経営方針で安全性を高めていくのか把握するべき!
- 常に意見交換、キャッチボールをし、情報共有化していくことが課題だ!
- 各グループに目を向け安全を高めていくか本体の責任でやっていくことを強く要求!

第10項 「運輸のフロ」として復帰した社員を安全や技術継承を行う担務に指定すること!

ライフサイクルの深度化で駅から戻った乗務員が教導や指導担当を担っている人がどれくらいいるか。

教導が5人。指導操縦者として登録されている人も20名、指導担当は現時点ではない。

少なすぎる!数に対する会社の評価は?!

数が多い少ないという単純な考え方ではない。これからどんどん増えていくことを期待している。

【確認事項】

- 経験を活かす場がないため、モチベーションが下がっている。現場の意見を聞くこと!
- 「運輸のフロ」は安全や技術指導の中心になるべき人材である!

第3項 災害に強い鉄道と職場を作るため、全職場にテレビを、車両にはラジオを設置すること!

- 12月7日の地震で指令からの連絡はない。在線列車の確認で精一杯だった。ラジオは情報がかめない。業務用携帯電話への情報はない。役に立つのはテレビだ!
- 今回の地震を受けてどう感じたのか、会社全体の課題として再度検討することを強く要求!

働きがいのある職場をつくっていきましょう!

